

授業改善プラン 小学校 第5学年 理科

考えを練り上げる活動を通して、適切な表現で説明する力を育成！

<p style="text-align: center;">単元名「電磁石の性質」</p> <p>指導計画と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の位置付け <ul style="list-style-type: none"> 第2次「電磁石の強さ」 <ul style="list-style-type: none"> 第1時「電磁石を強くする方法」 第2・3時 <ul style="list-style-type: none"> 「電磁石を強くする要因」 第4・5時 <ul style="list-style-type: none"> 「電磁石の強さのまとめ」【本時】 第6時「作ってみよう」 第7時「発展」 ・ 評価規準 <ul style="list-style-type: none"> 電磁石を強くする要因について適切な表現で説明することができる。 	<p>指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査問題概要／市正答率 <ul style="list-style-type: none"> 『電磁石の強さを変えるための条件を求める』問題 3(4)／正答率 54.0% ・ 課題 <ul style="list-style-type: none"> 制御した条件について適切な表現で説明する力が十分には身に付いていない。 ・ 指導の手立て <ul style="list-style-type: none"> 電磁石を強くする要因を考える学習課題を取り上げ、児童と教師とで考えを練り上げる活動を通して、適切な表現で説明することができる力を育成したい。
--	--

指導のねらい「適切な表現で説明することができる」

【授業例】

学 習 活 動	指導の手立てと留意点 / ☆は評価
<p>1 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">電磁石の力を強くするには、どうしたらよいだろうか。</div> <p>2 予想を立てる。</p> <p>3 予想や方法について話し合う。 (例) 電池の数を増やす。 (例) 電流を強くする。</p> <p>4 実験を行う。</p> <p>5 グループで話し合い、自分たちの言葉でまとめる。</p> <p>6 グループでの考察を比較し、全体でまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">電磁石の力を強くするには、電流の大きさを大きくしたり、コイルの巻き数を多くしたりする。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予想の理由を明確にするために、ミニホワイトボードを活用して話し合い活動を行う。 ・ 「電池の数」＝「電流の大きさ」ではないことに留意する。 直列つなぎ→電流が大きくなる。 並列つなぎ→電流の大きさは変わらない。 ・ 考察の時間を十分確保するため、前の活動を短時間で行えるように工夫する。 <p>※ 班で作った考察を全体に掲示し、同じ点や違う点、付け加え、新しい疑問などをたずね、児童と教師とで考察を練り上げていく。教師が各班の考察を評価したり、よい考察を提示したりすることで、児童の考察する力を高めていく。</p> <p>☆ 電磁石を強くする要因について適切に表現できる。(思考・表現, ノート)</p>